



令和7年2月3日発行

学校だより

第15号

江戸川区立松江第三中学校

〈 教 育 目 標 〉

- 1 素直で明るい、心豊かな生徒を育てる
- 2 自ら進んで、よく学びよく働く生徒を育てる
- 3 責任を重んじ、正義と規律を尊ぶ生徒を育てる

～ 言刃ではなく心のこもった言葉を・・・ ～

校長 小澤 託

この時期(新たな年が始まり、昨年を思い起こす時期とでも言うのでしょうか)、1年を振り返って読む俳句や短歌などの詩が新聞やメディアをとおして発表されます。個人的に一番は、“そうそう、私もそう思います!”と頷いてしまったり、プツと思わず笑ってしまったりするサラリーマン川柳が好きです(保護者の方もぜひ)。場所は、働く人によって違いはありますが、思うことや考えたりすることは皆同じなんだなあ、とほっとしてしまいます。同じくらい楽しく、そして、なるほど～と読めるのが、大学生や中高生が読む詩です。

有名なのは、東洋大学が募集し発表する「現代学生百人一首」ではないでしょうか。すでに30回以上発表され、今年は38回目だそうです。いくつか紹介します。

- ・「夢をもて」と言われ続けて十七年 「現実見ろ」と言われる面談(高3)
- ・無茶言うな高校までは出るな杭 大学からは杭よ出過ぎろ(大4)
- ・お会計 5歳の弟「ペイペイで」 この時感じた時代の流れ(中1)

素晴らしいと思いませんか? 読むだけで、その場面を思い浮かべることができ、その場にいる作者の戸惑いも感じるこの言葉・・・

もう一つ。こちらは、読むだけで心が温くなる内容です。全国の中高生から2万7千件以上の応募があるという「私の折々の言葉コンテスト」から

人に頼るのが苦手だった私に、小学校6年生の時の担任が言った言葉・・・

- ・人と人のあいだに生きているから「人間」と言うのです。

人に頼ることは恥ずかしいことではなく「人間」として至極当たり前のこと。自分の弱さを認められることこそが本当の「強さ」だと小6の時の担任の先生は言ったそうです。

読んでいるこちらの胸にも染みてくるのは私だけでしょうか。

天下統一をした豊臣秀吉が亡くなった後に、天下分け目の戦いを徳川家康と関ヶ原の戦いで争った武将は皆さんご存知の石田三成。彼は非常に頭が良く、栄華を極めた豊臣の片腕として活躍したことは有名な話です。しかし、秀吉が亡くなった後、その石田三成から多くの秀吉側についていた武将が去っていったと聞きます。その理由の一つに石田三成の言葉が原因であったと言う歴史家があります。三成は頭の回転が速く、まっすぐで、相手を切るような言葉を浴びせることが多かった。その言葉が心のこもった言葉ではなく、冷たく、まるで刃のような言葉だったとか・・・。

何気ない日常の会話や話の中で、みなさんの言葉は言刃になっていませんか?

【人が環境をつくり 環境が人をつくる】

誰かに言われたり、どこかで聞いたことがあるのではないのでしょうか。

「環境が人をつくる」・・・簡単に言えば「よい環境にいれば、よい人間に成長できる」という意味だと思います。様々なとらえ方はできますが、一例を挙げてみます。物が散らかっていて、何となくごちゃごちゃした感じがする部屋で過ごすのと、整理整頓され清潔感のある部屋で過ごすのでは気持ちが違いますよね。皆さんは中学生ですから、勉強する環境として考えれば、自ずと答えは見えてくるはずで、整理整頓され清潔感のある部屋で過ごす方が断然集中できるはずで、勉強もはかどるはずで、学校でも同じことが言えると思います。

皆さんが多くの時間を過ごしている教室はどんな状況でしょうか。机の並び方、本棚やロッカー、掲示物などはどうなっていますか？

自分たちの学年のフロアや階段はどうでしょうか。廊下の隅にゴミが溜まっていたり、雑巾が無造作に積まれていたりしていませんか？

どんな環境で過ごすかによって人は変わりますが、その環境を整えるのは、私たち自身です。誰かに整えてもらおう、誰かがやってくれるだろう、ではないのです！

自分たちで環境を整えるのです。

コロナを機に清掃活動がないがしろにされている感じがして、モヤっとしているのですが、日々の清掃活動や美化活動を見直して、自分たちで率先して環境を整える三中生になってほしいと思います。

<合同作品展が開催されました>

区立中学校合同作品展が1月24日から27日までタワーホール船堀で開催されました。

区内各中学校の選りすぐりの素敵な作品が会場いっぱいに表示され、来場された方々の目を楽しませていました。25日(土)に拝見させてもらったのですが、多くの方が来場しており、活気あふれる状況でした。作品展に活気あふれるという表現は正しくはないかもしれませんが、中学生のパワーと若さが伝わってくる作品の数々に圧倒されないように見る側も気合を入れて見ていたので、そういう表現にしました。

三中の生徒の作品は、入り口を入ってすぐの場所に展示されていて、多くの方が足をとめて作品を鑑賞しておりました。また、同じ会場で書初めも展示されており、堂々とした迫力ある書に圧倒されてしまいました。三中を代表して作品展示に協力してくれた生徒の皆さん、ありがとうございました。素敵な作品ばかりで、うれしくなりました。

3月になりましたら、校内作品展を行いますので、開催時期になりましたら地域・保護者の皆様にはご案内いたします。多くの方々のご来校をお待ちしております。

今年の節分は2月2日でした・・・
なんでだろう？疑問に思った時が調べ時です！